

カネコ土壤診断キットで 土壤診断をしてみませんか？

土の健康診断で、おいしい作物作りをサポート!!
「作物作りがいつもうまくいかない…」という方へ
カネコ土壤診断キットがおすすめです。

5,400円(税込)

私たち人間の体が太りすぎていないか、やせすぎていないか定期的に健康診断をするように、健康な作物を作り続けるためにはあなたの菜園の土が健康かどうかチェックする土の健康診断が必要です。診断結果を基に適切な土壤管理を行うことで、病害を低減・減肥を実現・食味の向上・収量アップを図るとともに、環境にやさしい菜園作りにもつながります。

カネコ土壤診断キットで注文後送られてくるキット内容：

●取扱説明書 ●土採取用スコップ ●採取専用袋 ●お客様カルテ ●レターバック

特典：返送料不要です。

土採取用スコップは、お客様へのプレゼント。採取後はご自由にお使いください。

*カネコ土壤診断キットはお客様の土壌を化学的に分析します。

(①硝酸態窒素 NH_4 ②可給態リン酸 P_2O_5 ③交換性カウム K_2O ④交換性石灰 CaO ほか7項目)

*分析結果をもとにご記入されたお客様カルテと併せて総合的に診断します。

*診断結果・処方箋と施肥の提案書を返送いたします。

☆土壤診断は3坪以内の家庭菜園を対象といたしております。

☆営農関係者様には対応致しておりません。

☆土壤診断には3週間ほどかかります。

我が家の菜園の土は健康？
カネコ土壤診断キットで
土の健康診断してもらいましょ！

こんな状態ならぜひ受診してみたいはかがでしょう

生育が悪い、病気が治らない

何回やっても育たない

実が大きくならない・作物をおいしくさせたい



土壤診断士監修

当社だけの新システム

日米コピーライト登録



土壌診断とは……

土の健康診断（土壌診断）の目的

人の健康診断と同じく土壌の状態を知ることが健康な作物作りに必須です。私たち人間は食べたものから体が作られ、様々な環境に影響されて生きています。植物も同様に土壌から栄養分を吸収して体を作っています。人間は定期的に体重や血圧・血糖値などを測定したり、レントゲンや胃カメラで体内の様子をチェックする健康診断を行っておりますが、植物はどうでしょうか？人間の体では食べたものは胃袋で消化され、腸内で吸収されますが、植物の場合は土壌と根がその場所を担います。このため土壌の健康診断をすることで、これから育てたい作物が育つのに必要な栄養分がわかるだけでなく、うまく育たない作物に対しての原因を探ることができます。



土壌診断の効果

一言で言えば、作物にぴったりの土壌にする最短方法がわかります

農林水産省「土壌環境基礎調査」によれば、近年農地の多くが養分過剰、いわば人間でいうメタボ状態が増加しており、ダイエットの必要があります。一方でしばらく何も栽培をしてこなかった畑では栄養不足の上に、硬くなった土を柔らかくさせることも重要です。また多くの圃場に共通することとして、ミネラル・微量元素の欠乏症という、今人間の体で起こっていることと同じ問題があげられます。

これらの問題を解決するためには土壌の3つの要素についてお読みいただき、問診表となるお客様カルテに必要事項をご記入・採取した土壌と一緒に郵送していただきます。送られてきた土壌は次にご紹介する土壌分析（土壌の化学性診断）を行い、お客様カルテと併せて総合的に診断、処方箋を返送いたします。処方箋を参考に土作りを行えば、天候状況にもよりますが、必要以上の無駄な肥料を入れることなくコスト削減と土壌の健康増進ができるので、お財布に優しく作物も健康になります。

健康なお野菜を育てて食べれば家族も元気いっぱいになることでしょう。



えっ、私のお庭ってこんなに太ったの?!とびっくり、ダイエットをする前に土の健康診断をおすすめします。



土壌の3つの要素



成長に必要な養分

今まで使ってきた肥料の成分や堆肥の種類、どのくらい使ってますか？

土壌分析でわかる部分です。土壌診断にはお客様カルテにご記入いただいたすべての情報をもとに、総合的に診断いたします。



化学性



病気に対する抵抗力

土壌や作物に気になる虫や病気がありますか？堆肥のにおいはどうでしょう？微生物資材をお使いですか？

生物性



物理性

根が張りやすいか？

土がかたいですか？水はけや水もちはどうでしょう？根の状態はどうですか？



該当欄にマルをつけるほか、気がついたことをどんどん書きましょう。



土壌分析とは...

土壌の化学性にターゲットを絞り、決まった体積中の土壌の養分の過不足などを分析します。窒素・リン酸・カリウム 3種類はもちろん、ミネラル6種類に加え土壌の胃袋の大きさがあるかどうか、育てたい作物の好みのpHかどうかを調べます。

pHとは水溶液の性質を知るための単位ですが、このpHの数値を左右させるのが土壌中のミネラルです。作物ごとに好みが違うので、土壌分析をすることにより何をどのくらい補えばよいか、もしくは減らせばよいか土壌改良の目標がわかります。



土壌診断に関する Q&A

コロナアグリ



Q. 土壌分析はなぜ必要ですか？

A. 肥料代を安くするためです。

分析により土壌養分の過不足状態を把握する事で、必要な養分だけ土壌に入れる事ができるため、肥料のコスト削減が可能となります。過剰な成分をし続ける事は、土壌のバランスを崩し作物の生長に悪影響を及ぼしますので、カンに頼った肥料投入は危険です。

Q. 土壌分析を効果的に活用するには？

A. お客様カルテのご記入が重要です。

土壌分析は万能ではなく、土壌の 3 つの要素のうち、物理性と生物性が良い条件で初めて効果を発揮します。お客様カルテにそれぞれの情報を書いていただいた分だけ、よりの確な土壌診断ができ、詳しい処方箋をお送りすることができます。

Q. 土の物理性や生物性の分析はできませんか？

A. 土の物理性は現場の計測となります。

生物性の分析（微生物の解析等）は専門機関のお取り扱いとなります。

計測には現場にて計測器など必要になるため長期間になり、こちらではできません。

その代わり土壌の水はけや土の固さは現場で穴を掘ったり、雨上がりの土の乾きやすさなど、現場の観察が重要です。

また、微生物や病気の解析は専門の分析が必要なため高額になります。土の健康診断ではこれらの要素の分析はできませんが、お客様カルテの情報からわかる範囲で両方の改善方法について処方箋をお送りします。



Q. 土壌の診断結果はどのようなものが送られてきますか？

A. 土壌分析の結果とお客様カルテの情報を元に総合診断をお送りします。

併せて作物に必要な肥料や土壌を改良させるための資材や方法についてまとめた処方箋、特に過不足が大きい成分につきましては資材の紹介だけではなく、その成分が植物と人間の体でどんな役割をするのかまとめた情報もお届けします。



● 土壌診断キット ●

この度は、土壌診断キットをご購入いただきましてありがとうございます。

【キットの中身のご確認をお願いします。】



● 土壌診断の流れ ●



START 1

右ページの
土の採取方法を読み
ガイドに従って
作業下さい。

2

同梱のスコップで
土を採取します。



3

採取した土を
同梱の専用袋に入れ、
ジッパーでしっかり
封をします。



5

③の専用袋と④のお客様カルテを
同梱のレターパックに入れて
そのままポストへ。送料は無料です。

(郵便窓口からの発送もできます)



4

同梱の
お客様カルテに
必要事項を
記入します。



6

当社で土壌診断を行い、分析結果と処方箋、
施肥アドバイス等をお客様に送らせて頂きます。

※診断期間は約3週間かかります。



※土壌採取スコップは、お客様へのプレゼントです。採取後はご自由にお使いください。
レターパックに入れて送らないでください。

● 土の採取方法 ●

土の状態（養分・ミネラルバランス）を正確に知るために
土の取り方のコツをご紹介します。

1. 採取時期について

- 基本的に作物の収穫が終わる頃～次の作付けの始まるまでの肥料を入れる前、作物が養分を吸いきった状態の土で行います。
- 作物によっては土の採取時期は変わってきます。
- 肥料をまいた直後は分析できません。その場合は次回まで待ちましょう。
- 分析結果が出るまで、肥料をまかないようにしましょう。
土壌分析には、混み合っている場合は3週間以上お待ち頂くこともありますので、作物作付けの適期をご確認の上お送りください。

2. 採取方法

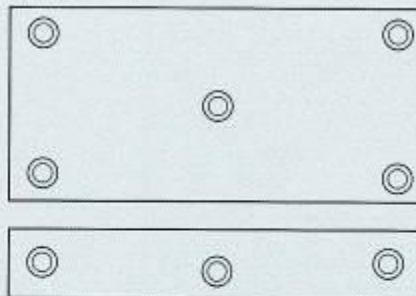
[1] 土の湿り状態

畑仕事ができる時の自然な土の状態が望ましいです。例えば長雨でドロドロになっていると分析までに乾燥の時間がかかったり、完全に乾燥した状態では正確な値がでなかったりします。できれば普通に耕せるような日に採取しましょう。

[2] 採取箇所と採取部分

一般的に圃場 1 箇所につき、4 隅と中心で計 5 箇所から土壌を採取し、全部をひとまとめに混ぜ合わせます（圃場イメージ上の図）。畑のひと畝で作物を栽培する場合や狭い土地で生育状態に変化がない場合、下の図のように3箇所程度でも大丈夫です（圃場イメージ下の図）。

圃場イメージ

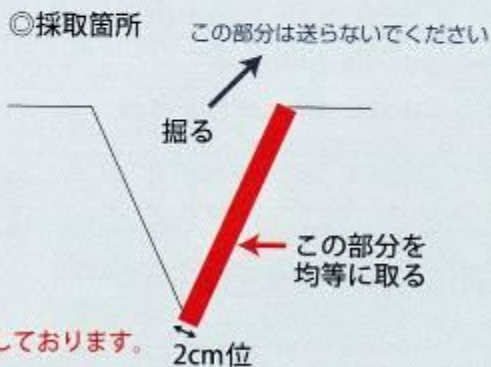


[3] 採取部分

20cm位をスコップで円錐形に掘り、その掘った表面を2cm位採取します。

[4] 採取量

5 箇所合計で、おわん 1 杯分程度あればOKです。



★この土壌診断は3坪以内の家庭菜園を対象といたしております。
営農関係者様には対応いたしておりません。